

令和元年
秋季
企画展

富士山の曼荼羅

— 参詣曼荼羅にみる富士山信仰の世界 —

Mandalas of Mount Fuji : The World of Beliefs Associated with Mount Fuji as Seen in Pilgrimage Mandalas

駿甲・古今の参詣曼荼羅、初共演



「富士曼荼羅」(国指定重要文化財・富士山本宮浅間大社蔵)【複製】

特別出品

山口晃「富士北麓参詣曼荼羅」(山梨県立富士山世界遺産センター蔵)



2019 (令和元) 年

10/12 [土] → 11/24 [日]

※10月15日(火)、11月19日(火)は休館

静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室

開館時間 9:00→17:00 (最終入場16:30)

常設展観覧料 一般300円、70歳以上・大学生以下・障害者等無料 (証明書を御提示下さい。)

※今回の企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。



静岡県富士山世界遺産センター



富士参詣曼荼羅は、主に16～17世紀にかけて描かれた、富士山への信仰登山を描いた宗教的な案内絵図で、現在複数の作品が確認されています。これらは、全て富士山表口（大宮・村山口登山道）からみた景観を描く構図をとっていますが、それは東海道を利用する道者たちの多くが富士山表口から富士山へと参詣していたことによります。今回の企画展では、富士山本宮浅間大社蔵「富士曼荼羅」（国指定重要文化財）をはじめとした、富士参詣曼荼羅の代表作4点の高解像度複製（原寸）を一堂に集め、参詣曼荼羅に表現された富士山信仰の世界を紹介します。あわせて、参詣曼荼羅とは「似て非なるもの」を展示し、富士参詣曼荼羅とは何かを考えていきます。

また、現代日本画を代表する画家である山口晃氏により描かれた、現代の富士参詣曼荼羅「富士北麓参詣曼荼羅」（山梨県立富士山世界遺産センター蔵）の原画を特別出品いたします。

駿河国と甲斐国のそれぞれから描かれた、古今の富士参詣曼荼羅の初共演をぜひご覧下さい。

待望の特別出品 山口晃「富士北麓参詣曼荼羅」



「富士参詣曼荼羅」(天満山松栄寺蔵)



「〔須走中心富士細密絵図〕」(静岡県富士山世界遺産センター蔵)

関連イベント

館内講座「富士山の参詣曼荼羅を絵解く」

静岡県富士山世界遺産センター 大高康正

10月20日(日) 14:00~15:00

会場: 1階研修室(定員35名・当日先着順)

展示担当者によるギャラリートーク

10月12日(土) 14:00~14:30

10月13日(日) 15:00~15:30

11月3日(文化の日・日) 14:00~14:30

会場: 2階企画展示室

*常設展観覧券をお求めの上、直接会場にお越し下さい。

会期中、1階富士山ライブラリーにて
関連書籍のコーナー展示も行います。

主な展示作品

「富士曼荼羅」(富士山本宮浅間大社蔵、国指定重要文化財)【原寸複製展示】

「富士浅間曼荼羅」(富士山本宮浅間大社蔵、静岡県有形文化財)【原寸複製展示】

「富士参詣曼荼羅」(天満山松栄寺蔵)【原寸複製展示】

「富士参詣曼荼羅」(富士山本宮浅間大社蔵)【原寸複製展示】

山口晃画「富士北麓参詣曼荼羅」(山梨県立富士山世界遺産センター蔵)

「富士山神宮并麓八海略絵図」(山梨県立博物館蔵) など



「身禄曼荼羅」(ふじさんミュージアム蔵)

